

成果報告会



Hong Kong

〈会場〉 香港大学



成果報告会は、このプログラム中で最も印象に残っています。成果報告会には、研修でお世話になった多くの皆様が出席してくださいました。あれほどの緊張感を味わうことはしばらくないのであると思うほど、全員が緊張していました。

成果報告会は正直なところ、「悔しい」の一言につきまします。英語も憊ならない私たちに、親切に、丁寧に、愛情を持って接して下さった皆様へ、感謝の気持ちを直接形にして表現できる唯一の機会に、完全な力を発揮できなかった、これは私に限ったことではないと思います。感謝の気持ちを伝えたいのにうまく伝えられないもどかしさ、悔しさ、悲しさ、申し訳なさ、といった感情は期間中何度も感じましたが、最も強くそれを感じました。しかし、この感情を持ってこそ、次のステップに進めるのではないかと考えております。この悔しさや申し訳なさなどをバネに、もっと英語を勉強して、もっと多くのスキルを身につけて、成長し、恩返しをするそのときまで、プログラムは終わらないような気がします。

少し大きいかかもしれませんが、成果報告会を機に、自分の人生観、モチベーションが大きく変化しました。この体験をもっと多くの海洋大生に、できるだけ早く体験してほしいと思います。

(リーダー：甘樂 花蓮)

同行教員： 矢澤 良輔 (海洋生物資源学部門 准教授)
同行職員： 野崎 恵 (学術情報課)
岡 知世 (グローバル人材育成推進室)



Taiwan

〈会場〉 日本交流協会台北事務所文化ホール



成果報告会は、約一ヶ月間台湾で活動した成果を報告する会として帰国日の1日前に行いました。今回の活動のメインイベントでもあるため、コツコツ準備もしていました。私はリーダーでしたが準備段階では各メンバーの得意不得意を判断して振り分けて準備しました。

その中で一つ成長できたなと思ったのは、私も得意ではないものがあったのですが、後輩にアドバイスをもらい改善させたということです。やはり後輩に頼るといえるのは少し戸惑いもありましたが、優れたものは取り入れていこうと考えるようにしてからは全く戸惑うこともなく頼れるようになりました。

準備をして本番に臨みましたが、緊張したものとても楽しかったです。というのも、約一ヶ月台湾で活動してきて、たくさんの方々に協力していただきました。そして、お世話になった方々が会に来てくださり、皆様に活動の成果を伝えることができたからです。英語での発表ではありましたがメンバー皆がしっかり話し切ることができ、良い報告会になったと思います。

(リーダー：笹岡 洋志)

同行教員： 溝端 浩平 (海洋環境学部門 助教)
同行職員： 永井 雅人 (学務部教務課長補佐)
長谷川 真子 (グローバル人材育成推進室)



Singapore

〈会場〉シンガポール国立大学



前日の夜中まで、成果報告会の発表で使用
するパワーポイントを先生方に添削して頂き、当日
の直前まで原稿を考え、覚え直し、チーム全員
最後まで諦めず粘りました。

思い返すと、探検隊で過ごした日々の中で1番
奮闘した1日でした。正直とても大変でしたが、
自分たちがそこまでして成果報告会のために
頑張れたのは、お世話になった方々へ感謝の
気持ちを伝えたいという思いが原動力になって
いたのだと思います。

当日、たくさんの方に会場へ集まって頂き、
緊張しながらも皆さんへ感謝の気持ちを伝える
ことが出来ました。私は、探検隊に参加して、
たくさんの方に出会い、様々なことを学び、
また、課題も見つけることが出来ました。
だからこそ、この経験を忘れず今後
活かしていきたいと思ひます。

(サブリーダー：谷口 実優)



同行教員： 別府 史章 (食品生産科学部門 助教)
同行職員： 柳田 雄介 (元 学務部入試課)
佐藤 裕美子 (グローバル人材育成推進室)



Malaysia

〈会場〉サバ州観光局



マレーシアでお世話になった皆さんは、
ご自身の経験、仕事への取り組み方など、様々
なことを惜しみなく私たちに分け与えて
くださいました。成果報告会は、そうした
ご厚意に対し、自分たちの成長と感謝の気持ち
を伝えたいという思いで臨みました。

報告会直前は、発表内容が頭から飛ばないか、
緊張していましたが、お世話になった方々が
会場にいらっしゃるにつれ、自分たちの成長と
感謝の気持ちを伝えるという目標を思い出し、
今までの緊張が嘘のように落ち着いて発表する
ことができました。二時間にわたる発表は、
あっという間に終わってしまいましたが、
メンバー全員が自分の力を出し切れたと感じて
います。

今回、海外で高い志を持ち、活躍されている
たくさんの方々に間近に見て、私たちも多くの
ことにチャレンジしたいと刺激を受けました。
残りの学生生活も、マレーシアで得た気づきを
忘れずに、頑張っていきたいと思ひます。

(リーダー：松島 彩)



同行教員： 田村 祐司 (海洋政策文化学部門 准教授)
同行職員： 平山 大輔 (学務部教務課長)
佐藤 裕美子 (グローバル人材育成推進室)